



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,963	△1.5	452	20.0	442	26.1	301	26.3
29年3月期第1四半期	5,037	3.6	376	8.0	350	7.3	238	19.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 302百万円(546.1%) 29年3月期第1四半期 46百万円(△76.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.81	—
29年3月期第1四半期	48.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,552	5,649	30.5
29年3月期	17,963	5,404	30.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 5,649百万円 29年3月期 5,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	3.3	410	0.3	390	3.4	265	3.9	54.40
通期	19,000	4.5	820	0.8	780	1.0	530	0.7	108.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	5,155,600株	29年3月期	5,155,600株
30年3月期1Q	284,630株	29年3月期	284,630株
30年3月期1Q	4,870,970株	29年3月期1Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の政策運営や欧州の政治情勢、地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する小売業界におきましては、店舗間競争に加えて消費者の節約志向が根強く、個人消費は足踏み状態が続いており、経営環境は依然厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、本年度は「2015年度～2017年度 中期経営計画」の最終年度として、靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す靴総合販売会社の地歩を固めるべく、安く作り・安く売る体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高49億63百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益4億52百万円（前年同期比20.0%増）、経常利益4億42百万円（前年同期比26.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億1百万円（前年同期比26.3%増）と減収増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、関東・関西他4エリアでのテレビCM広告および50万部のカタログの無料設置等の販売促進策を講じる一方、商品面では『P I T Tサンダル（499円）』および『J O G軽A i r（780円）』等の販売促進商品を投入し、新規顧客の獲得および既存顧客のリピート率アップに取り組みましたが、春物・初夏物商品が昨年との気温差の影響により出足が鈍く受注数量が伸び悩みました。

この結果、売上高は26億98百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面は、売上総利益率の改善が功を奏し、セグメント利益（営業利益）は4億60百万円（前年同期比24.3%増）と減収増益となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数・買い上げ点数アップおよびPB商品の拡販を目的としたイベントの実施、長期催事を織り交ぜた出張販売の継続実施等に精力的に取り組みましたが、競合他店との競争激化により雑貨関連商品を中心に売上が伸び悩みました。

この結果、売上高は20億85百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面では、靴を中心にPB商品の売上構成比のアップにより売上総利益率は改善したものの、売上減が影響しセグメント利益（営業利益）は65百万円（前年同期比13.1%減）と減収減益となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM取引先への販売が伸び悩んだ他、小売店向け販売におけるレイン関連商品の不調が影響し、売上高は1億79百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同期比13.3%減）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し、120億11百万円となりました。これは、現金及び預金が13億23百万円増加し、商品が5億46百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、65億40百万円となりました。これは、建物及び構築物が44百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億88百万円増加し、185億52百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、45億48百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が93百万円増加し、買掛金が1億91百万円、賞与引当金が60百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億75百万円増加し、83億54百万円となりました。これは、長期借入金が4億94百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加し、129億2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加し、56億49百万円となりました。これは、利益剰余金が2億42百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇し、30.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ6億23百万円増加し、34億38百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億13百万円(前年同四半期は6億90百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億42百万円の計上、たな卸資産の減少5億29百万円、仕入債務の減少1億90百万円、法人税等の支払額1億84百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億3百万円(前年同四半期は12億88百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出25億円、定期預金の払戻による収入18億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5億14百万円(前年同四半期は20億29百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入12億円、長期借入金の返済による支出6億11百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成29年5月12日の決算短信にて発表しました平成30年3月期の業績予想を見直した結果、当該四半期において平成30年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,115,582	7,439,247
受取手形及び売掛金	1,176,011	1,050,816
商品	3,673,013	3,126,026
未着商品	57,379	75,308
貯蔵品	16,174	15,871
繰延税金資産	63,150	77,424
その他	269,272	242,983
貸倒引当金	△17,046	△15,904
流動資産合計	11,353,538	12,011,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,878,606	2,834,058
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	229,616	213,164
有形固定資産合計	6,265,789	6,204,788
無形固定資産	169,080	157,657
投資その他の資産	175,471	177,913
固定資産合計	6,610,341	6,540,358
資産合計	17,963,880	18,552,132
負債の部		
流動負債		
買掛金	899,621	708,294
1年内返済予定の長期借入金	2,370,270	2,463,852
未払法人税等	211,631	169,858
賞与引当金	143,523	83,445
役員賞与引当金	-	2,159
ポイント引当金	43,467	32,603
その他	1,012,171	1,088,489
流動負債合計	4,680,685	4,548,701
固定負債		
長期借入金	7,422,687	7,917,543
退職給付に係る負債	147,283	149,590
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	32,059	32,204
その他	262,651	241,309
固定負債合計	7,878,250	8,354,216
負債合計	12,558,935	12,902,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,797,377	4,039,988
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	5,245,816	5,488,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,273	13,113
繰延ヘッジ損益	129,143	129,716
為替換算調整勘定	18,711	17,957
その他の包括利益累計額合計	159,128	160,787
純資産合計	5,404,944	5,649,215
負債純資産合計	17,963,880	18,552,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,037,741	4,963,721
売上原価	2,833,566	2,699,711
売上総利益	2,204,175	2,264,009
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	568,929	584,648
貸倒引当金繰入額	4,488	4,265
ポイント引当金繰入額	28,061	5,009
給料手当及び賞与	443,700	439,983
賞与引当金繰入額	83,466	83,445
その他	698,580	694,455
販売費及び一般管理費合計	1,827,227	1,811,807
営業利益	376,948	452,201
営業外収益		
受取利息	1,446	1,060
受取配当金	471	468
デリバティブ評価益	1,700	6,472
償却債権取立益	190	6,667
その他	5,783	6,339
営業外収益合計	9,591	21,009
営業外費用		
支払利息	25,582	23,070
為替差損	7,651	7,969
その他	2,648	49
営業外費用合計	35,882	31,089
経常利益	350,657	442,121
税金等調整前四半期純利益	350,657	442,121
法人税、住民税及び事業税	144,071	157,515
法人税等調整額	△31,849	△16,456
法人税等合計	112,221	141,058
四半期純利益	238,435	301,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,435	301,062

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	238,435	301,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△872	1,840
繰延ヘッジ損益	△189,290	572
為替換算調整勘定	△1,416	△753
その他の包括利益合計	△191,578	1,659
四半期包括利益	46,857	302,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,857	302,722
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,657	442,121
減価償却費	81,033	80,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△93	△1,141
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,357	△60,078
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,655	2,159
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9,873	△10,863
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,509	2,306
受取利息及び受取配当金	△1,917	△1,529
支払利息	25,582	23,070
為替差損益(△は益)	1,903	19
売上債権の増減額(△は増加)	61,021	124,802
たな卸資産の増減額(△は増加)	371,167	529,361
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,609	△190,873
その他	39,559	77,834
小計	779,986	1,017,368
利息及び配当金の受取額	3,039	3,169
利息の支払額	△25,525	△23,090
法人税等の支払額	△66,604	△184,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	690,895	813,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,200,300	△2,500,300
定期預金の払戻による収入	3,000,000	1,800,000
有形固定資産の取得による支出	△4,666	△3,080
無形固定資産の取得による支出	△83,263	-
投資有価証券の取得による支出	△537	△537
その他	254	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,288,513	△703,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,750,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△656,040	△611,562
配当金の支払額	△45,805	△55,255
その他	△18,303	△18,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,029,850	514,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,961	△520
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,429,272	623,365
現金及び現金同等物の期首残高	2,302,735	2,814,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,732,007	3,438,247

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,713,208	2,133,860	190,672	5,037,741	—	5,037,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,713,208	2,133,860	190,672	5,037,741	—	5,037,741
セグメント利益	370,448	74,889	31,806	477,144	△100,195	376,948

(注) 1 セグメント利益の調整額△100,195千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	通信販売事業	ディスカウント事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,698,975	2,085,644	179,100	4,963,721	—	4,963,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,698,975	2,085,644	179,100	4,963,721	—	4,963,721
セグメント利益	460,354	65,062	27,570	552,987	△100,785	452,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△100,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。